

令和6年度学校評価報告書

令和7年（2025年）3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道北見商業高等学校長

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 学習意欲とコミュニケーション力を高める教育活動の推進
- 業務量軽減に向けデータ管理の徹底と共有化の実践

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態に合わせた教材・教具の選定や授業形態の工夫するなど授業改善がなされている。 ○ICTを活用した学習活動について、効果的な授業展開について生徒からの高い評価を得られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と連携・協働した取組について地域から高い評価を得ている。資格取得の促進についての要望も高い。 ○商業教育を学んだ生徒が、身に付けた能力を活かして地域で活躍することへの期待が大きい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した授業を積極的に公開し、実践例等情報共有によって活用の促進を継続する。また、積極的に研修会等に参加することにより授業力向上を図る。 ○基礎・基本の定着に向け、朝学習等において集中した学習環境を整えるよう工夫する必要がある。学習ツールを有効に活用するための研修を促進する。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○人間関係の構築や情報モラルに関する指導について研修を深め、効果的に指導する必要がある。 ○支援が必要な生徒についての情報共有や組織的な対応が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時代に即した指導の在り方について工夫が必要である。 ○生徒の多様性を理解し、きめ細やかな生徒指導に努めながら、生活指導や教育相談等が十分に行われている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ○校内外を問わず、秩序の維持に向けて組織的に対応する必要がある。また、生徒指導部会や学年部会での情報共有を深め、統一した指導を展開する必要がある。 ○特別支援に関する研修を深め、支援が必要な生徒への計画的な対応ができるよう組織力を高める。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や関係機関との連携を密にすることにより、進路実現に向けた多くの視点からのアドバイスが実現している。 ○キャリア教育が自己の進路実現につながるよう、個別のアプローチが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動のあらゆる面において、将来必要となる能力や態度を育む指導が適切に行われている。 ○キャリア教育の在り方について、工夫が必要である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ○進路説明会や三者面談等の実施方法を工夫し、保護者等との連携を強化するとともに、生徒の多様な進路希望に応じた指導の充実に努める。 ○外部との連携を深め、早期段階から進路実現に向けた意識付けを行う。 	
健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症対策や熱中症対策など、指導方法を工夫するとともに、予防対策としての環境整備を強化する必要がある。 ○外部人材の活用を継続することにより、生徒の心の健康をサポートし、問題に対する早期対応を心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康維持のための学校環境整備が必要である。 ○外部機関と連携しながら、良好な人間関係の構築に努め、生徒が健康で安全な生活が送れるよう指導されている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ○事故の未然防止に努めるとともに、危機管理や安全に対する意識向上の指導に当たる。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評議員、学校職員へ学校評価集計結果の報告と文書を配布 ○学校ウェブページに学校評価集計結果を掲載 	